【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】令和5年8月14日(2023.8.14)

【国際公開番号】WO2022/124209
【出願番号】特願2022-568241(P2022-568241)
【国際特許分類】
Ａ０１Ｋ 29/00(2006.01)
Ａ６１Ｂ 5/07(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ０１Ｋ 29/00 Ｄ
Ａ６１Ｂ 5/07 １００

【手続補正書】
【提出日】令和5年6月5日(2023.6.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
樹脂、又は、塩素原子を含まないゴムを含み、
パッキン、Ｏ－リング、及び、ガスケットからなる群より選択される少なくとも１種であり、
畜産用センサーの検出部又は基板を収容する空間内に家畜の有機酸を含む体液が侵入することを防止するものである畜産用センサー用シール部材。
【請求項２】
前記樹脂は、フッ素樹脂である請求項１に記載の畜産用センサー用シール部材。
【請求項３】
前記フッ素樹脂は、ポリテトラフルオロエチレン、テトラフルオロエチレン／パーフルオロ（アルキルビニルエーテル）共重合体、テトラフルオロエチレン／ヘキサフルオロプロピレン共重合体、テトラフルオロエチレン／パーフルオロアルキルアリルエーテル共重合体、及び、クロロトリフルオロエチレン／テトラフルオロエチレン／パーフルオロ（アルキルビニルエーテル）共重合体からなる群より選択される少なくとも１種である請求項２に記載の畜産用センサー用シール部材。
【請求項４】
前記ゴムは、フッ素含有ゴムである請求項１～３のいずれかに記載の畜産用センサー用シール部材。
【請求項５】
前記フッ素含有ゴムは、パーフルオロゴムである請求項４に記載の畜産用センサー用シール部材。
【請求項６】
請求項１～５のいずれかに記載の畜産用センサー用シール部材を備える畜産用センサー。